

多核種除去設備 A 系 ドレン配管から堰内への滴下事象

2017年8月31日



東京電力ホールディングス株式会社

©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved.

無断複製・転載禁止 東京電力ホールディングス株式会社

概要



■概要

- 多核種除去設備A系統の鉄共沈処理プロセスのドレン弁※保温材から滴下を確認
- 滴下した水は多核種除去設備の堰内に留まっており、建屋外への漏えいには至っていない
- 滴下箇所の調査を行ったところ、ドレン弁上流のドレン配管下部から滴下を確認。当該箇所から保温材を伝いドレン弁の保温材から滴下したものと推定。

配管内の水の放射能濃度

Cs134 : 1.9×10^4 Bq/L, Cs137 : 1.2×10^5 Bq/L, 全 β : 2.2×10^7 Bq/L

- なお、A系は8/10より処理を停止中であった。

■時系列

【8/16】

- 14:10頃 作業員が溜り水発見（約10cm×約50cm×深さ約1mm）
- 16:20頃 拭取り完了

【8/17】

- 10:00頃 調査のため系統内に圧力をかけたところドレン弁上流の配管から滴下を確認
- 10:30頃 滴下箇所を自己融着テープにて補修
- 11:00頃 圧力がかかった状態で補修箇所から滴下が発生していないことを確認

※ F 1 3 6 A 「前処理ステージ1クロスフローフィルタA循環配管ドレン弁」

©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved.

無断複製・転載禁止 東京電力ホールディングス株式会社

■滴下箇所に対する処置

自己融着テープによる補修及び配管下部への養生・受けの設置を実施済み



■今後の予定

原因特定のため、滴下箇所の内面調査等の詳細調査を実施予定